

令和4年度地盤工学会関西支部 支部賞受賞者

受賞者名	受賞者所属	業績名	賞の名称	受賞理由
村田 宗一郎 小山 倫史 宮崎 祐輔 岸田 潔	関西大学 関西大学 京都大学 京都大学	土壌雨量指数を用いた国道における新たな異常気象時事前通行規制の提案および検証	地盤技術賞	本業績は、現在の連続雨量を用いた国道の降雨通行規制が長時間に及んでいる課題を改善するために、土壌雨量指数と60分間積算雨量を用いて作成したスネーク曲線による災害危険度判定を降雨通行規制の発令及び解除基準に活用することにより、通行規制期間を合理的に決定しようとする提案である。近年、気象庁から土壌雨量指数による土砂災害危険度が発表されており、これに通行規制区間において実測された60分間積算雨量を考慮することで、規制対象区間に即した危険度判定が可能となる。人工法面等への展開など、今後の更なる改良を期待して地盤技術賞に選定した。
富田 和孝 鈴木 麻里子 井上 一哉	神戸大学大学院 神戸大学大学院 神戸大学大学院	砕石副産物から作製した土質系遮水材の液状化強度と施工性に関する一考察	地盤技術賞	本業績は、砕石・砕砂の湿式製造過程から排出される副産物である砕石脱水ケーキの遮水性能の高さに着目し、土質系遮水材としての利用可能性を検討したものである。砕石工場内から別途発生する乾燥材料を添加することにより、安価に液状化強度の増加や施工性の向上を図ることが可能であることを繰り返し三軸試験や盛土の試験施工等により明らかにし、盛土の施工管理基準を提案している。以上の理由から、地盤技術賞にふさわしいものと判断される。
小山 倫史 近藤 誠司 山田 忠幸	関西大学 関西大学 関西大学	福井市高須町における局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期警戒・避難に向けた利活用に関する検討	社会貢献奨励賞	本業績は、土砂災害リスクが高い中山間部の限界集落である福井県高須町における地盤工学分野の知見を活用した住民参加型の地域防災力向上活動の取り組みに関連するものである。今回は、局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度を住民の早期警戒・避難に利活用できるように情報提供システムの構築し、普及啓発活動を行っている。このような住民の防災力向上の取り組みは、一朝一夕に完成するものではなく、粘り強い継続的活動が必要である。このような理由から、今後の活動継続による成果を期待して、表彰委員会の特別賞として表彰するものである。